

備前市事務事業評価表

事務事業名	JRへの要望事務		コード	01-01-12-01
			担当課・係	企画課 公共交通対策係
			担当者	難波 巧
			電話	0869-64-1871
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	公共交通		

事業について	
目的 (何のために)	JRに対し、在来線の増便等の要望を行うことにより、通勤・通学・通院・買物等市民の主要移動手段であり地域交通の基幹となっているJR線の利便性の維持・向上、及び利用促進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	JR利用者、沿線地域住民
内容	JR在来線（赤穂線、山陽本線）の市内運行について、増便（反減便）、延長運行、時刻設定、改札の利便性向上等に関し利用者及び地域住民の要望をまとめ、JRに対し直接あるいは関係機関を通じて要望する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
要望回数	1回	1回	
事業費 (単位：千円)	事業費		財源
	直接事業費	間接事業費	補助金等
	人件費	108	市債
	合計	0	108
必要人員	0.10人	0.10人	
結果指標	結果指標名	結果指標量	対前年比
	要望回数	1	100.00%
	活動にかかるコスト	108,000円	0.00%
	単位当たりコスト	108,000円	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	要望をJRに伝えることと、要望事項が実現に至ること		
成果指標名	要望実現数	式又は説明	要望に応え実現されたもの
	17年度	18年度	
成果指標量	0	0	
対前年比	-		
到達目標値	1以上	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	JR線は、通勤・通学・通院・買物等市民の主要移動手段であり地域交通の基幹となっている。JR線の利便性の維持・向上、及び利用促進を図ることは地域にとって不可欠であり目的は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	各関係者の意見を事前にまとめ要望しており、事業費としては事務人件費以外の特定の経費はなく妥当である。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	要望事項の実現に結びつかないものが多いが、JRに対し確実に声を届けることはできている。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 要望内容をより具現化し、実現に近づくよう改善する。
目標値	結果指標量	1以上	結果指標量
	成果指標量	1以上	

総合評価	JRに対する要望は、利用者、地域住民の声を届け、要望の実現に向け働きかけることが重要である。利潤を求める民間事業者への要望はすぐに実現に結びつくとは限らないが、要望に反する改正を阻止する効果もあると思われる。粘り強く続けていく必要がある。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	有効性	より具体的な要望内容とする	平成20年度	要望の実現性を高める